

平成 21 年 1 月 29 日

J S P S ロンドン

## HEFCE 予算の 2009 年度配分額(暫定版)及び RAE2008 に関連した研究費の配分公式(暫定版)について

2009 年 1 月 29 日、HEFCE は、1 月 22 日に開催された HEFCE 理事会 (Board) で、ジョン・デナム DIUS 閣内大臣からの HEFCE グランド・レターを受けて、「HEFCE 予算の 2009 年度配分額」(暫定版)を決定し、その概要を公表した。また、現在英国の大学等で最も関心が高い、RAE2008 の評価結果を受けた「HEFCE 研究関係費の配分公式」(暫定版)についても示されている。

2009 年度の配分額については、正式には、各大学等への配分額等も含め、来る 2 月 26 日の理事会で決定され、3 月 5 日に公表される予定。

この度の発表の概要以下のとおり。

### 1. HEFCE 予算の 2009 年度配分額(暫定版)

HEFCE 予算の 2009 年度配分額(暫定版)について、主な項目は下表のとおり。

#### ○HEFCE 予算の 2009 年度配分額(暫定版)

(単位:百万ポンド)

項 目	09年度	備 考
教育関係費(Recurrent Teaching Grant)	4,7822	2%増 ※1・2
(特徴的な項目)		
教育の質向上(Teaching Enhancement and Student Success)	269	
高コストな研究(Very High Cost Laboratory-based Subjects)	25	※3
高騰教育の機会拡大(Widening Participation)	143	
研究関係費(Recurrent Research Grant)	1,572	5.6%増 ※1・2
(主な項目)		※4
基本配分(Mainstream Quality-Related Research Grant Allocation)	1,106	
産学連携研究(Business-related Research)	63	
チャリティー連携研究(Charity-funded Research)	194	
博士課程学生指導(Postgraduate Research Degree Supervision)	203	
施設整備費	1,154	
高等教育イノベーション・ファンド(HEIF)	134	
調整費(Moderation)	20	※5
特別経費(Special Funding)	316	
総 額	7,978	3.8%増 ※1・2

(出 典) HEFCE 発表資料(2009 年 1 月 28 日付け HEFCE 通知文書)をもとに、JSPS ロンドンが作成

- ※1 本表は特徴的な項目を記したものであり、全ての項目を示していないため、「教育関係費」、「研究関係費」、「総額」等は、各項目の合計と一致しない
- ※2 増加率は、対前年度比の実質ベースの値。施設整備費の2010年からの前倒し分は含まない
- ※3 「超高コストな研究分野(Very High Cost Laboratory-based Subjects)」は、「教育関係費」の中で戦略的配分(Targeted Allocation)として恒久化される
- ※4 研究関係費の配分方針については、下記「2. 研究関係費の配分方針」参照
- ※5 「調整費(Moderation)」は、RAE2008に基づく配分で前年度から配分額が大きく落ち込んだ大学等を救済するために確保。(2009年1月28日付け HEFCE 通知文書の「11.b.」で少し触れているが、主に、2009年1月29日付け Times Higher Education の関連記事による)

## 2. 研究関係費の配分方針

2008年12月に公表されたRAE2008の評価結果に基づいた、研究関係費の各大学等への配分公式について、英国の大学等関係者の関心が非常に高い。配分公式について、この度、下記のとおり発表されたが、3月5日に正式公表までは、まだ流動的であるとしている。

- 研究の質を考慮し、現在の選択の度合い(研究費を選択的に配分する範囲)を維持する。
- 研究関係費の「基本配分(Mainstream Quality-Related Research Grant Allocation)」を増加させることを最優先とする。その他の要素における最適値以上のインフレーションを最小限に抑制する。これは、最も質の高い研究への支援を最優先としてきた近年のHEFCEの方針を維持するということである。
- 研究関係費の基本配分について、科学・工学・機械・数学等の研究への配分額のシェアを堅持する。そのために、必要に応じてその他の分野への配分額を適宜調整する。

### 研究関係費の配分方針(質・量の指標)

	配分項目	質の指標	量の指標
1	基本配分 (Mainstream Quality-Related Research Grant Allocation)	RAE2008 の評価結果 ※重み付け等は下記別表参照	研究スタッフ数(RAE2008 の評価時に申請したもの)
2	産学連携研究 (Business-related Research)		企業からの収入
3	チャリティー連携研究 (Charity-funded Research)	なし(従来のしきい値は廃止)	チャリティーからの収入
4	博士課程学生指導 (Postgraduate Research Degree Supervision)	RAE2008 (研究分野単位) で下位 15%の学部は配分対象外	学生数

(出典) HEFCE 発表資料(2009年1月28日付け HEFCE 通知文書)をもとに、JSPS ロンドンが作成

※Funding for Building Research Capability は、2008年度で終了(延長なし)。

## 研究関係費の基本配分(Mainstream QR)の質の指標に関する配分方針

グレード	全体に占める割合	配分方針
4*	17%	2*の7倍
3*	37%	2*の3倍
2*	33%	
1*	11%	配分対象外
分類なし	2%	配分対象外

(出典) HEFCE 発表資料(2009年1月28日付け HEFCE 通知文書)をもとに、JSPS ロンドンが作成

### 3. 増加学生数と公的財政支援

公的な財政支援を受けられる学生数の増加について、2008年10月のデナム閣内大臣の発言への対応が課題になっていたが、大臣は HEFCE へのグラント・レターの中で、その後 UCAS のデータから、すでに目標数に達していることが分かったため、増加の必要はなく、むしろこれ以上各大学等に増加させないよう呼びかけるよう HEFCE に要請していたもので、HEFCE は今後各大学等へ呼びかける予定。なお、2010年度の学生数については、大臣は2009年終りに検討するとしている。

### 4. 参考資料

○HEFCE ニュース (2009年1月29日)

<http://www.hefce.ac.uk/news/hefce/2009/funding.htm>

○HEFCE 通知文書 (2009年1月28日)

<https://www.jiscmail.ac.uk/cgi-bin/webadmin?A2=ind0901&L=ADMIN-HEFCE&T=0&F=&S=&P=5163>

○ジョン・デナム DIUS 閣内大臣からの HEFCE グラント・レター (2009年1月22日)

<http://www.hefce.ac.uk/news/hefce/2009/grant/>

<http://www.hefce.ac.uk/news/hefce/2009/grant/letter.htm>

○Times Higher Education 関連記事 (2009年1月29日)

<http://www.timeshighereducation.co.uk/story.asp?sectioncode=26&storycode=405174>

(了)